

二九八七番

梓弓あづさゆみ 引ひきて緩ゆるへぬ ますらをや 恋こひといふも
のを 忍しのびかねてむ

二九八八番

梓弓あづさゆみ 末すゑの中なかごろ 淀よどめりし 君きみには逢あひぬ
嘆なげきは止やまむ

二九八九番

今いま更さらに 何なにをか思おもはむ 梓弓あづさゆみ 引ひきみ緩ゆるへみ
寄よりにしものを

二九九〇番

娘をとめ子らが 続うみ麻をのたたり 打うち麻そ掛かけ うむ時ときな
しに 恋こひ渡わたるかも